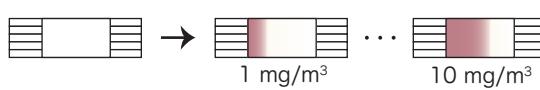


# DT14.1 ルイサイト (L)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m <sup>3</sup>
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	ルイサイトが存在する場合: 白色からピンク色に変色します。 (陰性時に青色に見える場合があります。)
	
反応原理	加水分解されたアセチレン[acetylene]とロスペイ[Llosvay]剤との反応
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層には、改良されたロスペイ[Llosvay]製剤を含浸させたシリカゲルが含まれています。アンプルには20% の水酸化ナトリウムが含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30 回(1 回 100 mL)または自動ポンプで3L 空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	ルイサイトのみに反応します。類似体の L-2 および L-3 は本反応を示しません。ヒ素系の他のCWA も反応しません。
干渉性	硫化水素[Hydrogen sulphide]と高濃度の二硫化炭素[carbon disulphide]と反応し、茶色がかった色となる可能性がある。
温度	10~50 °C ( 10 °C以下では加熱が必要 )
湿度	依存せず(反応過程で水が含まれるため)